

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	神奈川県ライトセンター		
所在地	神奈川県横浜市旭区1-80-2		
サイトURL	http://www.kanagawalc.org/		
根拠条例	神奈川県ライトセンター条例		
設置目的(設置時期)	身体障害者法第34条の規定により、無料で点字刊行物等を視覚障害者の利用に供し、及び視覚障害者に対して各種指導、訓練、スポーツ活動等の振興等を行い、並びに視覚障害者に対する社会奉仕活動を行おうとする者に対してその活動のための便宜を供与し、もって視覚障害者の生活の充実及び文化の向上並びに視覚障害者に対する社会奉仕活動の振興を図るため。 (昭和49年8月)		
指定管理者名	日本赤十字社		
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	施設所管課	障害福祉課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
A	<p>◆管理運営等の状況 提案に基づき、視覚障害者及び、それを支援するボランティアへの各種支援事業等を着実に実施している。</p> <p>◆利用者の満足度 総合満足度の評価において、「満足」「どちらかといえば満足」と回答とした割合が70%以上であり、利用者から一定の満足度を得ている。</p> <p>◆利用状況 昨年度と比べると利用者数は微増となり、着実に事業を実施している。</p> <p>◆収支状況 提案に基づき、計画を実施している。</p> <p>◆苦情・要望等 全体としては要望等を積極的に把握し、サービス向上を図ったことからA評価となった。</p> <p>◆事故・不祥事等 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。</p> <p>以上の管理運営状況を総合的に勘案し、総合評価をA評価とした。今後は、音声図書のデジタル化や、スポーツ施設利用者の安全確保等の取組みを継続するとともに、普及啓発による利用の拡大や、県内の視覚障害者支援の拠点として、他施設等に対してその専門的なノウハウの普及に努めてもらいたい。</p>
S : 極めて良好な管理運営状況 A : 良好な管理運営状況 B : 一部改善が必要な管理運営状況 C : 抜本的な改善が必要	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	なし
現場確認	実施日	特記すべき事項等があった場合はその内容
	なし	なし
随時モニタリング指導・改善勧告等の有無	無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>視覚障害者の読書環境をなお一層改善し、個人利用を積極的に推進するための情報提供施設事業を実施。</p>	<p>図書については、より利用者ニーズの高いデザイン図書や、新たに加えた拡大図書の充実を図り、サービスの向上に取り組んでいる。                      (平成26年度実績)                      &lt;製作&gt;                      点字図書411タイトル                      デザイン図書318タイトル                      拡大図書20タイトル                      &lt;貸出&gt;                      点字図書2,107タイトル                      デザイン図書43,408タイトル                      テープ図書1,377タイトル</p>	
<p>視覚障害者の生活に必要なスキルを身につけるための指導・訓練事業を実施。</p>	<p>歩行訓練では、歩行訓練士による外出トレーニングを実施している。また、料理教室等の日常生活指導や視覚障害乳幼児、保護者の指導を実施している。                      (平成26年度実績)                      &lt;相談・訓練 2,112件&gt;                      歩行相談433件                      日常生活相談317件                      録音図書相談146件                      点字訓練98件                      コミュニケーション訓練83件                      日常生活指導66件 他</p>	
<p>視覚障害者の多様化するニーズに対応するため、ボランティア育成事業を実施。</p>	<p>視覚障害者を支援し、積極的に活動できるボランティアの育成のため、必須である基礎ボランティア養成講座を受講後には、各ボランティアの目的に合わせて、点訳・誘導・スポーツ介助等の体系化された研修を実施している。                      (平成26年度実績)                      ボランティア入門講座180回                      ボランティア研修42回                      ボランティア団体指導育成56回</p>	
<p>視覚障害者のスポーツを促進し、スポーツ施設の有効利用を図るためにスポーツ振興事業を実施。</p>	<p>水泳やブラインドサッカー等の各種スポーツ教室やスポーツ競技会等を開催している。                      また、地域で行われるスポーツ大会への協力や地域のスポーツセンターが視覚障害者を受け入れるための環境整備に取り組んでいる。                      (平成26年度実績)                      体育館でのスポーツ教室57回                      プールでのスポーツ教室149回                      大会への協力5大会                      地域スポーツ振興6回</p>	
<p>視覚障害者に対する理解を促進するための普及啓発事業を実施。</p>	<p>小中学生等の生徒や教員を対象に福祉教室等の開催を実施。                      また、施設見学を積極的に受け入れ、視覚障害に対する理解促進に取り組んでいる。                      (平成26年度実績)                      福祉教室等5,534名                      施設見学718名</p>	

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の提案内容	実施状況等
該当なし	

5. 利用状況

評価	＜評価の目安＞目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	[参考] 直営/管理委託/指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	94,964	96,159	92,999	93,206
対前年度比			96.7%	100.2%
目標値	[目標値設定根拠]			
目標達成率				

[ 参考：最大利用可能人数 ]

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※1	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由 \_\_\_\_\_

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満
A	

満足度調査の実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	年に1回1月～3月の間	昨年度と比べ、評価は上昇しており、更なる利用者のニーズの把握やサービスの向上に努めていく。

実施した調査の配付方法  
 ライトセンター便りへの掲載  
 ホームページへの掲載  
 調査票の設置  
 聞き取り、郵送、電話、メール、FAXでの受付  
 回収数 115（配布数不明）

配付(サンプル)対象

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
総合満足度の回答数	14	56	24	4	98	【満足】 ・いつも良くしてもらっている。現状に満足。 【不満】 ・図書館の本の種類を増やしてほしい。
回答率	14.3%	57.1%	24.5%	4.1%		
前年度の回答数	21	55	37	5	118	
回答率の対前年度比	124.6%	81.6%	128.0%	103.8%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収入合計/支出合計の比率が S(優良):105%以上 A(良好):100%~105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である):85%~100%未満 C(収支比率に15%を超える マイナスが生じている):85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

	[参考] 直営/管理委託 /指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
[参考] 年度計画	351,211	312,746	313,746	317,613	
指定管理料	351,211	280,746	281,746	285,613	
利用料					
その他収入		32,000	32,000	32,000	
合計	351,211	312,746	313,746	317,613	
対前年度比		89.0%	100.3%	101.2%	
対 計画比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
(2) 支出					
[参考] 年度計画	347,919	312,746	313,746	317,613	
支出額	347,919	315,261	314,446	305,791	
(内 納付金 )					
対前年度比		90.6%	99.7%	97.2%	
対 計画比	100.0%	100.8%	100.2%	96.3%	
(3) 収支					
[参考] 年度計画					
収支差額	3,292	-2,515	-700	11,822	
対前年度比		-	-	-	
収入合計/支出合計の比率	100.9%	99.2%	99.8%	103.9%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※  の欄は記入不要。

[ 参考: 県が支出した修繕工事費 ]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)
平成26年6月	432	空調制御機器交換工事
平成26年9月	366	外部建具修繕工事
平成26年10月	315	空調機オーバーオール
平成26年10月	243	自家発電設備始動用蓄電器交換工事
平成26年12月	830	プールボイラーポンプ交換工事
平成26年12月	1,334	プールボイラーオーバーオール
平成26年12月	3,014	冷温水ポンプ交換工事
平成27年1月	500	非常灯用整流器部品交換工事
平成27年2月	253	点字ブロック補修工事

( 基本協定において県が負担することとしている修繕費等: 200千円以上 )

[ 参考: 資本的な収入及び支出等の状況 ]

	金額(千円)	内容(金額)
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	手紙	1 件	・点字ブロックを利用してトイレに行くと壁にぶつかってしまう。	・施設内では点字ブロックだけでなく、白杖の使用を励行する。
		件		
職員対応	手紙	2 件	①送られてきた雑誌の中身が異なっている。これまで複数回見られている。改善をお願いしたい。 ②職員の対応に差があるので、研修等で職員のスキルの向上等を図ってほしい。	①所長と相談後、本来の雑誌をバイク便にて当日配送する。今後は通常対応とする。 ②職員の利用者に対する意識を施設全体で高めていく。
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等)
			②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。